

観光地域づくり法人(DMO)事業報告書

※ 黄色枠部分についてご記入ください。

※ 提出時期は、【毎事業年度の終了後4か月以内】となりますのでご注意ください。

1. 基本情報

DMO名称		一般社団法人 小豆島観光協会			記入対象期間		令和6年4月1日～令和7年6月30日	
					記入日		令和7年7月28日	
DMO登録区分		登録DMO			候補DMO 登録日		令和5年3月31日	登録DMO 登録日
代表者	所属組織	(一社)小豆島観光協会	役職	代表理事	氏名	堀川 满弘		令和6年3月29日
CMO	所属組織	(一社)小豆島観光協会	役職	事務局長	氏名	塩出 慎吾		
CFO	所属組織	(一社)小豆島観光協会	役職	事務局長	氏名	塩出 慎吾		
記入者 (担当者) 連絡先	所属組織	(一社)小豆島観光協会	役職	事務局長	氏名	塩出 慎吾		
	TEL	0879-82-1775	E-mail	shioide@shodoshima.or.jp				

2. DMOの登録要件に対する自己点検

点検項目			自己点検 結果 【選択】	(左欄で満たしていないを選択した場合) 具体的に、どのような点において 満たしていないと認識しているか
[1]	I	合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)	満たして いる	(例) ・自治体が会議体を主導している。
	II	地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政が全て参画している	満たして いる	(例) ・交通事業者が正式なメンバーに含まれて いない。
[2]	I	少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)	満たして いる	
	II	戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している	満たして いる	
	III	誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している	満たして いる	
	IV	上記[2]I～IIIを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている (延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている)	満たして いる	
	V	戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している	満たして いる	
	VI	PDCAの実施に際して、上記[2]Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている	満たして いる	
	I	地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している (広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)	満たして いる	
[3]	II	上記[3]Iとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している	満たして いる	
	III	戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている	満たして いる	
	IV	戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている	満たして いる	
	V	情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている	満たして いる	
	I	DMOが法人格を取得している	満たして いる	
[4]	II	DMOの業績について対外的に説明責任を果たすため、最終的な責任者が明確化されている	満たして いる	
	III	データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO:チーフ・マーケティング・オフィサー)が専従で最低一名存在している	満たして いる	
	IV	DMOの持続可能な運営のため、運営収支や安定的な運営資金の確保に関する財務責任者(CFO:チーフ・ファイナンシャル・オフィサー)を設置している	満たして いる	
	I	安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・入湯税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある	満たして いる	
[5]	II	運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている	満たして いる	

3. 具体的な取組状況

(記入上の留意点)

- ※ 形成計画の記載内容に基づき、実際に取り組んだ実績や成果をご記載ください。
 ※ いつ取組を行ったのか、具体的な時期(実施日)を記載いただきますようお願いします。
 ※ 途中段階の取組であっても、どこまで達成できたのか、いつ達成する見込みなのかなるべく詳細にご記載ください。

(1) DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成について

【関連する点検項目】

【1】I. 合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称(例:理事会、協議会等)	・小豆島観光協会 理事会、総会 ・小豆島観光集いの場
上記合意形成の仕組みの概略(例:DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担等)	小豆島観光協会の会員は観光産業(宿泊施設、観光施設、交通事業者)だけではなくオリーブ、醤油、そうめん、佃煮といった食品産業、農協、寺社など多種にわたっており、理事会、総会でこれら事業者との合意形成が行われている。 加えて令和5年度より「小豆島観光集いの場」を設定し、小豆島観光協会の会員ではない漁協、高校、など幅広いステークホルダーと意見交換の場を設定している。R6年度は未開催。R7年度は9月頃開催予定。
直近1年間における開催実績と参加人 数 ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記載すること。	令和6年度 小豆島観光協会理事会4回(10名、15名、15名、16名)総会1回(通常総会161名) 令和7年度 小豆島観光協会理事会1回(14名)、総会1回(通常総会148名)
上記合意形成の仕組みとなる会議体以外の設置状況・開催実績について、ご記入ください。(例:分科会、ワーキンググループ、実務担当者会議等)	
インバウンド、サービス向上などの部会設置について検討中。	

【関連する点検項目】

【1】II. 地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政が全て参画している

上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①~④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付すること。 ※関係者がいない場合には、その理由を明記すること。	
①地域が売りとする観光資源の関係者 (文化財、国立公園、農泊、アクティビティー、農林水産業、商工業等)	【観光関連事業者】 二十四の瞳映画村、小豆島 ふるさと村、道の駅小豆島オリーブ公園、小豆島オリーブ園、銚子渓 お猿の国 小豆島大観音、妖怪美術館、醤の郷現代美術館、マルキン醤油記念館、小豆島シーサイドゴルフ 【その他事業者・団体】 JA香川県、池田漁協、小豆島町商工会、小豆島靈場会
②宿泊事業者(旅館、ホテル等)	【入規模ホテル】 小豆島国際ホテル、ベイリゾートホテル小豆島、オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル 【ホテル・旅館】 オーキドホテル、ホテルグリーンプラザ小豆島、島宿 真里、海音 真里、ホテルニュー海風、ホテル海廬 ホテルAQUA、旭屋旅館、喜久屋旅館、大師の宿、ひとみ荘、海辺の宿 入舟、千種旅館 瀬戸内SUPリゾート碧、ひろきや旅館、お料理の宿 千鳥、ホテルたるや、旅荘 古浜、シータイガーアイランドイン小豆島、ラ・クラッセ 【ビジネスホテル】 ビジネスイン三番館、ビジネスホテル ニューポート 【民宿】 ビジネス民宿 マルセ、オアシス、小豆島三都の郷、くすの木とオリーブの森Kei、NOTE 【ユースホステル】 小豆島オリーブユースホステル 【公共の宿】 国民宿舎 小豆島、公共の宿ふるさと荘、ふるさと荘ファミリーロッジ、余島野外活動センター、オリベックスうちのみ 【ペンション】 カントリーイン・ザ・ホワイトマリーン、バーンキャトル・ウ 【ゲストハウス】 おとまり忠左衛門 吉野、ヴィラ汐音、TBTランド、Sen Guesthouse、 【キャンプ場】 小豆島オートヴィレッジYOSHIDA、小豆島ふるさと村オートキャンプ場、TBTランド当浜キャンプ場、マリンリゾート小豆島 【民泊】
③交通事業者 (鉄道、バス、タクシー等)	【バス・タクシー】 小豆島オリーブバス、小豆島交通、かんかけタクシー 【フェリー】 小豆島フェリー、四国フェリー、小豆島豊島フェリー、国際両備フェリー、ジャンボフェリー 【レンタカー】 オリックスレンタカー、小豆島レンタカー(美島自動車)、小豆島観光レンタカー、エンジェルレンタカー(イシイ)、みきレンタカー(Miki Auto)、Jネットレンタカー(宮山モータース)、小豆島安全レンタカー、小豆島サイクルステーション、ニコニコレンタカー、マリンレンタカー
④行政	土庄町 小豆島町

(2)各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立

【関連する点検項目】

〔2〕I. 少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)

【2】戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している。

[2] 3. 誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している

〔2〕Ⅳ. 上記〔2〕Ⅰ～Ⅲを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている（延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている）

KPIの達成状況についてご記入ください。※過去3年間、今後3年間分を記入すること。

【関連する点検項目】

- [2]V. 戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している
 [2]VI. PDCAの実施に際して、上記[2]Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている

戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した実績についてご記入ください。

※PDCAの実施については、評価・分析に基づいて、必要に応じて計画の見直しを行った場合は、その具体例も記入すること。
 ※実際に共有を行った資料を添付すること。

- 小豆島観光協会2024年度事業報告書(別添)を用いて小豆島観光協会理事会、総会にて共有。

持続可能な観光に関する国際的な認証・表彰の取得状況について

日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)ロゴマーク 【選択】	グリーン・ディスティネーションズによる認証・表彰【選択】 ※複数で表彰された場合は最上位の表彰を選択	ベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認証 【選択】	その他、持続可能な観光に関する認証制度等 (自由記述)
取得状況	取得している	ノルバー賞を受賞したことがある	認証を受けていない

持続可能な観光の取組の実績について、ご記入ください。(例:観光客のマナー違反対策、事前予約制や混雑状況の可視化、ゴミの削減や環境に配慮したコンテンツ開発、観光客増加による影響に関する住民向け説明会 等)

- R6年度「オーバーツーリズム対策」補助事業にて島内観光地10か所に日英観光案内・マナー啓発看板を設置(韓国語、中国<繁体・簡体>についてはQRコードで対応)、島内2箇所に観光客向けのスマートゴミ箱を設置。
 ●R6補正「オーバーツーリズム対策」補助事業において港3箇所に日英案内看板を設置、流動調査・観光客数推移調査を実施して混雑状況を可視化して行動変容を促す。

デジタル化やDXを推進するための取組の実績について、ご記入ください。

(例:CRM、DMPの導入、地域内の宿泊施設へのPMS導入支援、MaaSによる二次交通の利便性向上 等)

- 小豆島観光協会HPに観光協会主催ツアー(地域限定旅行業登録)を掲載、販売、ネット決済をしている。

(3)関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

【関連する点検項目】

【3】I. 地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している（広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く）

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組の実績について、ご記入ください。
(例:住民対象のアンケート調査、住民参加型の着地型ツアー、観光教育プログラム 等)

- 2023年度より観光に関する住民満足度調査を実施している。
- 2025年度瀬戸内国際芸術祭に合わせて島内ボランティア12名が英語による観光案内を行った。

【関連する点検項目】

【3】II. 上記【3】Iとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している

DMOの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況やDMOの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により地域住民も含めた関係者に対して説明・共有を行った実績について、ご記入ください。

(例:地域住民向け説明会、DMOの取組を紹介する広報誌・アニュアルレポートの作成 等)
※実際に説明・共有を行った資料も添付すること。

- 小豆島観光協会2024年度事業報告書(別添)を用いて小豆島観光協会理事会、総会にて共有。
- 「小豆島観光集いの場」について令和6年度は未開催となった。今年度は9月開催予定。

【関連する点検項目】

【3】III. 戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている

戦略の共有に照らし合わせて、地域の多様な関係者が参画する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績や具体例について、ご記入ください。

- 令和6年度に小豆島町、土庄町、小豆島観光協会が共同で受託した「オーバーツーリズム対策」補助事業において小豆島町、土庄町、小豆島町自治会連合会、土庄町自治会連絡協議会と協議を行い、当該補助事業について調整を行った。

【関連する点検項目】

【3】IV. 戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている

観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組の実績について、ご記入ください。
(例:着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記 等)

- R6年度「オーバーツーリズム対策」補助事業にて島内観光地10か所に日英観光案内・マナー啓発看板を設置(韓国語、中国<く繁体・簡体>についてはQRコードで対応)、島内2箇所に観光客向けのスマートゴミ箱を設置。
- R6補正「オーバーツーリズム対策」補助事業において港3箇所に日英案内看板を設置、流動調査・観光客数推移調査を実施して混雑状況を可視化して行動変容を促す。
- 着地型旅行商品「中山千枚田と農村歌舞伎舞台を巡るツアー」「山岳霊場”碁石山”での護摩祈祷体験ツアー」を販売開始した。

観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組の実績について、ご記入ください。
(例:品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング 等)

- 交通事業者(バス、タクシー)向け英語・中国語指さしツールを作成した。

【関連する点検項目】

【3】V. 情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行ってい

情報発信・プロモーションに係る取組の実績について、ご記入ください。

(例:ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス 等)

- 小豆島の観光に関する問い合わせは現在小豆島観光協会に一本化されている。
- SNSやHPによる情報発信。
- 土庄港、オリーブナビに加え池田港に3つめの観光案内所を2025年5月に開設した。
- 東京での商談会に加え、2025年6月には台湾商談会を開催した。
- インバウンド向け商談会(JNTO、四国ツーリズム創造機構、香川県・高知県主催)に積極的に参加した。
- 島外イベントへの積極的な出展(神戸2回市、姫路市、東京都港区、横浜市、赤穂市、岡山市、高松市)

一元的かつ効率的に情報発信・プロモーションを実行するための、DMOと地域の多様な関係者(自治体・民間事業者等)との役割分担について、ご記入ください。

- 小豆島町、土庄町とはそれぞれに連絡を取りながら情報発信を行っている。民間事業者の情報発信についてもイベントや新規オープンなど重要度の高いものについては小豆島観光協会HP、SNSなどでPRを行っている。

DMOが運営・管理を行っている地域サイトについて(ない場合は「なし」と記入)

<https://shodoshima.or.jp/>

上記地域サイトが以下に該当する場合はチェックをつけてください。

(a)地域全体を包括している※1	<input checked="" type="checkbox"/>	(b)宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している※2	<input checked="" type="checkbox"/>	(c)宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内で予約から決済まで一気通貫に見える状態になっている	<input type="checkbox"/>
(d)宿泊及び体験・アクティビティについて、他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※3	<input checked="" type="checkbox"/>	(e)ターゲットに即した言語※4で(a)、(b)、を満たしている	<input checked="" type="checkbox"/>	(f)ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内或いは他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※5	<input type="checkbox"/>

※1 地域サイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。

※2 地域サイトにおいて、※1の主要な各エリアにおける各情報(①宿泊、②体験・アクティビティ、③飲食)をそれぞれ1つ以上掲載している状態を指す。

※3 OTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

OTA等のリンクを掲載するのみで当該施設の予約画面まで直接遷移しないものは含まないこととする。

※4 戦略においてターゲットと設定している国の言語対応を指す。

※5 ターゲットに即した言語で自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に見える状態、又は、その国の旅行者が主に使用しているOTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

(4) 安定的な運営資金の確保

【関連する点検項目】

【5】I. 安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・入湯税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある

自主財源(特定財源、自治体からの受託事業(指定管理者制度、ふるさと納税等)、収益事業(旅行商品の造成・販売等)、会費等)の更なる確保に向けた今後の見通しについて、ご記入ください。

- ガイド育成と旅行商品の造成、販売に力を入れており、英語通訳ガイド・バスガイドの提供と着地型ツアーの販売を行っている。
- 他に会費収入、バナー収入もある。

【関連する点検項目】

【5】II. 運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている

運営資金のうち行政からの支出による財源が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に検討を行ってきた実績や協議内容についてご記入ください。

※自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定していれば、その内容についても触れること。

令和7年度に小豆島町、土庄町が宿泊税検討委員会を立ち上げ、関連事業者との協議を開始した。

(5)その他特記事項

海と山の豊かな自然、歴史・文化的な奥深さを長くアピールするため、フィルムコミッショング活動を積極的に行っている。今後も関連イベントに出展するなどしてフィルムコミッショング自体のPR活動を推進していく。

4. 次年度(次期)の事業計画の概要

事業計画を添付します。

※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みについて

外部組織等による検証の有無	有	検証時期(有の場合)	毎年6月
検証方法(有の場合)	小豆島観光協会の事業について毎年監査が行われ、それを6月に総会にて公表している。今後は「集いの場」にてもこれら情報を公表する。		
外部組織等の参画者(有の場合)	小豆島観光協会の監事		
検証結果の公表の有無(有の場合)	有	公表方法(有の場合)	DMOのHP上で公表。